

[公財]いわて産業振興センター広報誌

産業情報

INDUSTRY INFORMATION IWATE

いわて

2024/6・7 Vol.229

洋野町 筑波重工株式会社

★キラリ輝く★

岩手の
企業

もっと安全で効率よく 機械の開発で林業界に革新を

各部事業紹介…6・7

理事長のごあいさつ

公益財団法人いわて産業振興センター 組織体制…8



ハイドロマチック・モア/ラジコン操作であらゆる地形に対応できる。雑木を刈り、粉碎して外に出す仕組みだ。



東京ビッグサイトで開催された第3回次世代森林産業展。

★キラリ輝く★
岩手の
企業

もっと安全で効率よく 機械の開発で林業界に革新を

広大な森林面積を持つ岩手県。中でも洋野町は、林業が盛んなエリアだ。林業の現場は危険を伴う。そんな中、重機の販売、整備・修理を行う筑波重工株式会社は、安全性と作業効率を向上させる機械を開発した。今、販路を広げている。

洋野町 筑波重工株式会社

林業従事者の安全のため 伐倒練習機を開発

洋野町の産業を支える林業。技術が進歩したとはいえ、深い山の中で作業をする林業は危険を伴うもの。林業従事者の怪我や事故は、全国でも後を絶たない。

筑波重工株式会社の代表取締役小田直樹さんは、林業で使う重機の販売や整備など手掛けるうちに、厳しい現場を目の当たりにした。

「危険な伐倒の作業は、少しのミスが大きな事故につながります。これまで、ベテランも新人も同じように事故に遭っているのが現実でした。そこで、安全な場所で伐倒の技術を習得することができたらと考えました」

小田さんは伐倒トレーナーの意見を参考にすぐに図面を引き「伐倒練習機Felling Trainer MTW-01」を製造。林業従事者の安全のために、伐倒技術を指導す

るトレーナーの育成と研修会を始めた。

植樹のために開発した 車高調整式下草刈り機

林業の安全を下支えするうち、さらなる問題点も見えてきた。木を切った後、再造林していない土地が多いのだ。林業先進国の欧州では、伐採したところに木を植えている。50年かけて計画的に森を循



1 車高を調整してあらゆる地形に対応する。抜根を避けることもできる。
2 「伐倒練習機Felling Trainer MTW-01」。各地でこの重機を使った研修会が行われている。



環させる例も知った。

「50年以上経つと木は二酸化炭素の吸収率が低下します。伐採した木材は建築用材や紙などのパルプ、森林残材はバイオマス発電と森林資源を有効活用しカーボンニュートラルに貢献します。伐採後は植林しSDGsにつなげる事業として造林会社を設立しました」

小田さんは筑波フォレスト株式会社を設立。いわて産業振興センターの「設備貸与制度」を利用して、林業に必要な重機を導入。植樹

を想定した伐採を行う林業会社を立ち上げた。

しかし、伐採した後の山は、背の高い雑木が生い茂り、抜根が行く手を阻んだ。

「従来の機械ではスタックしてしまうし、急斜面を登れない。手作業で下草を刈ったら作業効率が悪く、危険もある。ならば、自分で機械を作ればいけないかと思いました」

小田さんは、急斜面や凸凹した地形にも対応する「車高調整式下草刈り機『ハイドロマチック・モ

ア』を開発した。車高を調整し、抜根を乗り越えて走ることができる上に、切った木を粉碎して外に出す性能の良さ。加えてラジコン操作なので林業従事者の安全も確保できる優れたものだ。

林業に革新を 全国への普及を目指す

令和4年にいわて産業振興センターの「いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業」を活用し、東

京ビッグサイトで開催された第3回次世代森林産業展に出展した。「車高調整式下草刈り機『ハイドロマチック・モア』」を展示すると、さまざまな企業や団体が興味を示しブースを訪れた。中でも林野庁や電力会社に高く評価された。以後、全国各地でデモンストレーションや実証実験を行い、評判は上々。次第に受注が増えていった。

「大手の会社と違って、洋野の小さな工場で作っています。工作機で部品から作りますから、手間がかかっています。一台ずつ受注生産です」

今では、納品を待ってもらうほど。「うれしい悲鳴です」と小田さんは微笑んだ。

全国の林業関係者から注目される存在になった同社。近い将来、林業先進国欧州にも需要がありそうだ。海外進出の日に近い。



3 筑波重工株式会社はフィンランドの林業機械メーカー「SAMPO」の正規輸入ディーラーだ。
4 「ハイドロマチック・モア」は、工作機で部品から作る。
5 若い技術が活躍する工場。みな真剣な眼差しで働いていた。

POINT 技術ポイント TECHNOLOGY POINT

これまでお客様の安全作業や省力化に取り組んできました。その中でも林業は死亡災害や重度災害が多く発生しています。我々の工業技術から林業の安全の仕組みを下支え出来ないものかと考案したのがチェーンソー作業のトレーニングマシン(伐倒練習機)です。

あらゆる斜面や立木の角度を任意で変化させ山林現場を再現しチェーンソーの基礎技術を反復練習できる仕組みを作りました。

林野庁を含む全国の林業研修所や林業アカデミー・林業大学校などで採用されチェーンソーの基礎トレーニングやベテランのフォレストワーカーの再教育などで、林業の重大災害の撲滅に貢献しています。



6 伐倒練習機での連取風景

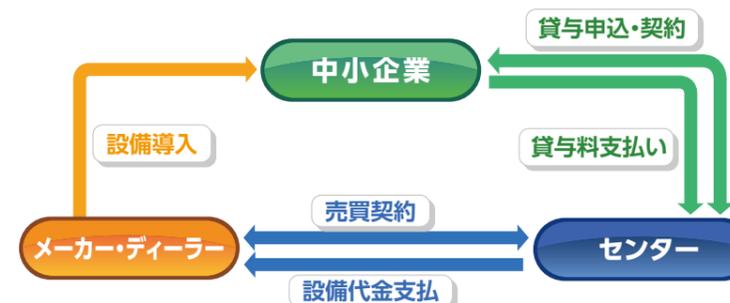
ハイドロマチック・モアや伐倒練習機で、林業の安全と省力化を同時に解決する新しい技術革新で皆様のお役に立ちるのが理想です。

お客様の課題点を想像し、イメージできれば、工作機械で試作・検証が出来ます。そこからはお客様のお声を反映しながら製品化までいち早く対応する技術には自信があります。

この事業を **活用** しました

01 設備貸与制度

岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械・設備をセンターが商社・メーカーから直接購入し、長期・低利で貸与(割賦販売)する公的制度です。貸与の条件はお問い合わせのURLからご確認ください。設備の更新等を検討されている企業様はお気軽にお問い合わせください。



📞 **お問合せ** 総務金融部 金融支援担当 TEL.019-631-3821
URL <https://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

02 いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業

国の機関や県、金融機関からの出捐により、「いわて希望応援ファンド」を造成し、その運用収入を主な財源として、県内企業が行う新商品開発や販路開拓等の新たな取組みへ公募助成を行っています。令和6年度は17事業者が採択となりました。助成金の交付のほか、専門家の派遣指導などを通じて、企業の新事業展開を継続して支援します。



📞 **お問合せ** 産業支援部 地域産業担当 TEL.019-631-3823



代表メッセージ 代表取締役 **小田 直樹** 氏

今、カーボンニュートラルが叫ばれています。しかし伐採した森林のうち30%しか再造林になっていません。このままでは、どんどん森林が減って50年後、森がなくなってしまう。未来の地球環境のために、木を植えることを前提として伐採することが大事です。弊社の「ハイドロマチック・モア」が普及し、安全かつ効率よく、植樹に取り組む事業者が増えてほしいと願います。

代表 Profile 昭和44年、久慈市生まれ。短期大学を卒業後、就職しシステム設計業務に携わる。転職し、整備士や溶接工として働き、技術を身につける。重機の修理業として平成21年4月に筑波重工を創業。平成30年地域未来牽引企業認定。令和4年発明奨励賞受賞。

企業データ CORPORATE DATA

会社名 筑波重工株式会社
本社 岩手県九戸郡洋野町阿子木
18-35-29
電話 0194-77-5668
代表者 小田 直樹
従業員 18名
業種 重機の修理・整備、機械製作、
製造・販売
URL <https://www.tsukuba-hi.com/>

沿革 HISTORY

平成23年10月 筑波重工株式会社 設立
平成25年8月 経営革新計画 承認(1回目 フリーアングル作業システムによる産業機械修理等の短納期の実現)
平成26年11月 経営革新計画 承認(2回目 建設機械業界初モーションセンサー内蔵林業用グラブの製造・販売)
平成27年10月 第51回「岩手県発明くふう展」特賞 盛岡商工会議所会頭賞受賞(トレーラーアウトリガーの格納装置)
平成30年12月 岩手県商工会議所連合会 いわてビジネスイノベーションアワード経営革新部門 優秀賞受賞
地域未来牽引企業認定
令和元年5月 西根営業所開設
令和2年1月 経営革新計画承認(3回目 伐倒練習機の普及促進による生産性向上・安定化)
令和4年2月 経営革新計画承認(4回目 林業特化型「車高調整下草刈り機」による林業機械市場への進出)
令和4年10月 盛岡事務所開設
令和4年11月 公益社団法人発明協会 発明奨励賞受賞
令和5年6月 府省共通研究機関 認定
令和6年4月 遠野営業所開設

各部事業紹介 事業者様の取り組みをサポートします。

産業支援部

「いわてマルシェ2024」の開催について

5月30日から5日間、パルクアベニュー・カワトクにおいて、「いわてマルシェ2024」を開催しました。
 今年度は、新規メーカー11社を含め、県内各地から54の事業者がこだわりの食品や工芸品を出品しました。
 岩手が誇るブランド肉や新鮮な海産物を使用した加工品や弁当、多彩なスイーツや伝統工芸品など魅力あふれる商品を県内であらためて紹介する機会となり、初日のオープンから多くのお客様が来場したほか、イトインコーナーで提供したラーメンやかき氷を楽しむお客様で会場は賑わいました。



■ お問い合わせ ■

地域産業担当 TEL.019-631-3823

産業支援部

「食品関連産業活性化支援事業に係る専門家派遣」のご案内

県内の食品製造業が抱える自社商品の開発及び販路開拓、生産性向上に関する課題を解決するため、専門家を派遣しての助言・指導を行っております。
 令和5年度は、IoT導入による遠隔温度監視システムの構築や商品のレシピ開発、商談会の出展に向けたコンセプトづくり等、県内7事業者に活用いただきました。
 その他に、バイヤーへの訴求方法やEC販売導入への助言、商品のブラッシュアップ指導など幅広く対応可能ですので、関心のある事業者様はお気軽にご相談ください。相談内容に合った専門家と一緒に訪問いたします。



■ お問い合わせ ■

地域産業担当 TEL.019-631-3823

産業支援部

「プロフェッショナル人材戦略拠点」のご案内

当センターでは、専門的な経験を有する人材とのマッチングを支援する「プロフェッショナル人材戦略拠点」事業を実施しております。当センターから一度に53の人材紹介会社に求人情報を提供できるので、より多くの求職者にアピールが可能で、何度面接しても、納得いく人材が決まるまで、費用は発生いたしません。(但し人材を採用する際に、費用が発生しますのでご留意願います。)
 また、人材を雇用するのではなく、一定期間、業務を委託できる「副業・兼業」人材も対応していますので、お気軽にお問い合わせください。

■ 正社員

- ・取締役・工場長
- ・PM、PL、管理者
- ・資格保有者(国)
- ・基幹システムのDX

■ 副業人材(コスト低減!)

- ・WEB、ECサイト、SNS支援
- ・ブランディング・マーケティング強化
- ・就業・給与規定作成

■ お問い合わせ ■

プロフェッショナル人材戦略拠点 TEL.019-631-3828

産業支援部

「工程改善個別指導」のご案内

当センターでは、製造業における「生産の無駄の排除」等を目的として、個々の企業ニーズに応じた「工程改善個別指導」を実施しております。
 今年度もトヨタ自動車東日本(株)の現役の社員・OBを指導者に迎え、生産性向上等の支援をしております。
 また、生産設備を故障させないための「管理手法(保全)」についても、併せて支援しております。
 「改善」活動に関心のある企業様は、お気軽にお問い合わせください。

■ お申し込みの前に以下をご確認ください

- ・コンサルタントではありませんので無料です
- ・指導は「指示・提案」となりますので、実務は企業の担当者に担っていただきます
- ・事前に代表と面談の機会をいただいております



■ お問い合わせ ■

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

ものづくり振興部

「いわて自動車・半導体関連産業集積促進協議会 合同総会」を開催しました

5月29日(水)に北上市のホテルシティプラザ北上で「令和6年度いわて自動車・半導体関連産業集積促進協議会 合同総会」を開催しました。
 本総会では、地場企業の技術力向上や専門人材育成等の取組みを通じた取引の拡大や新規参入、関連企業の立地等を促すことを目的とした各協議会における活動について報告があり、本県における各産業の集積促進に向けた議論が行われました。
 総会後には、(株)産業タイムズ社 代表取締役会長 泉谷渉氏により、「半導体と自動車の未来—そして岩手への期待」と題した講演が行われました。
 当センターでは、自動車・半導体関連産業における取引拡大・参入等に向けた各種支援を実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



■ お問い合わせ ■

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

産学連携部

「次世代自動車部品の動向を90分で学ぶオンデマンドセミナー」のご案内

当センターでは、自動車の次世代化対応に向けた取引参入・研究開発を支援するため、経済産業省の事業を活用した「次世代自動車チャレンジ支援事業」を実施しております。北上市産業支援センターの自動車部品分解展示場を活用した実地研修の開催や無料の相談窓口の開設をしておりますので、ご利用ください。
 この度、次世代自動車部品の動向に関するオンデマンドセミナーを開催します。セミナー動画をインターネット上で好きな時に何度でも無料でご覧いただけます。ぜひご参加ください。
○次世代自動車部品の動向を90分で学ぶオンデマンドセミナー
【配信期間】 令和6年6月20日(木)～8月30日(金)
【講師】 一般社団法人 日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏
【申込方法】 当センターHPよりお申込みください。
 次世代自動車分野への参入相談は、休祭日を除く月曜日から金曜日の8時30分～17時15分に電話・メールで受け付けております。

■ お問い合わせ ■

産学連携部 TEL.019-631-3825

ものづくり振興部

「下請かけこみ寺」のご案内

「下請かけこみ寺」では、中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが抱える取引上の悩み相談を受け付けております。
 取引上の問題解決に向けて、企業間取引や下請代金法などに詳しい専門の相談員や弁護士がアドバイスを行いますので、取引上のトラブルでお困り方は是非ご相談ください。相談に係る費用は無料です。

■【相談事例】

- ・支払期日を過ぎても代金を支払ってくれない。
- ・お客さんからキャンセルされたので、不要となった部品を返品された。
- ・長年取引をしていた発注元から突然取引を停止された。

相談用フリーダイヤル：☎0120-418-618

受付時間：平日9:00～12:00 / 13:00～17:00
 (土日・祝日・年末年始を除く)

産学連携部

「デジタル人材育成講座」のご案内

当センターでは、県内ものづくり企業のデジタル化・DX推進を支援するため、「北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業」を実施しております。
 この度、デジタル技術を導入するためのスキル習得を目指す「デジタル人材育成講座」を開催いたします。本講座において、デジタル化に取り組みたいものづくり企業は、自社のデジタルニーズや課題を正確に把握または伝えるために必要なスキルを習得することができ、また、ITベンダー企業は、ものづくり企業の業務等に関する理解を深め、より有効な提案につなげることができます。
 積極的にデジタル化を目指す県内ものづくり企業をモデルとして、工場視察を行い、課題を見つけ出し、これに対するデジタル化の提案を行うといった実践的な演習も組み入れております。ぜひご参加下さい。



【開催概要】

- 1.開催日** 令和6年9月～令和7年1月(全8回)
- 2.会場** 北上市技術交流センター(北上市北工業団地)
- 3.受講対象** ①岩手県内ものづくり企業②ITベンダー
- 4.募集人数** 20名程度
- 5.参加費** 無料

■ お問い合わせ ■

産学連携部 TEL.019-631-3825



公益財団法人いわて産業振興センター

理事長 佐々木 淳

就任の御挨拶

本年4月1日付をもちまして、公益財団法人いわて産業振興センター理事長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍を乗り越えつつある現在においても、多くの中小企業・小規模企業の皆さまが、人材の不足、円安による原材料価格の上昇、物価高への対応等依然として厳しい経営環境に置かれています。このような状況下においては、今後、生産性向上や適切な価格転嫁を図り持続的な賃上げ原資を確保し、経営基盤を強化していくことが重要と考えます。また、カーボンニュートラルへの対応、デジタル化の進展、自動車・半導体関連産業を核とした集積の加速化など、社会経済環境の変化にも適切に対応していく必要があります。

当センターでは、「よろず支援拠点」を窓口にも、経営改善、産業人材育成、取引・金融支援など、様々な支援策を用意しております。本県産業の中核的支援機関として、国・県、商工団体、金融機関、大学等関係団体と連携を密にしながら、職員と一丸となって県内中小企業者の皆様の支援に努めて参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

(公財)いわて産業振興センター 組織体制

